

1. 各社のプレゼンテーションにおいて、審査委員から、主に次のような質問が出ました。

①A社

- Q : エコモールのなかにある「教育研究室」はどのような形状のものを考えているか。多目的スペースが 2 階、3 階にもあり、机と椅子が置いてあるので、ここも生徒どうし、あるいは教員との交流スペースになる。そうすると、教育研究室の目的や用途をもう少し特化した方が良いのではないか。ややあいまいな気がする。それともまったく想定がないのだろうか。
- Q : アリーナの天井について、遮断塗料くらいで夏の暑さが断熱できるのか。「わりと効果がある」ということだが、証明できるデータはないのか。かなり安くあがるだろうということは分かるが、効果がなければ意味がない。
- Q : 提案には様々な環境技術が組み込まれているが、限られた事業費のなかで、どういったところを特に重視して、最終的な選択に向かっていきたいと思っているかをお聞きしたい。
- Q : 真ん中に中央棟を増設する提案となっているが、日射遮蔽やOMソーラーがどのようになるのか、環境的な配慮がされているかどうかをお聞きしたい。
- Q : 事業を行いながら改修を行っていく過程の段取り、手順などを説明して欲しい。
- Q : 体制について、かなり強力なチームを組むということだが、例えば、この事業をずっと見守ってきている事務局（地域問題研究所等）との関連はどのように考えているか。1 ページ目の右の図で、北名古屋市、中学校、市民とあるが、協力事務所などとの関係は、どのように体制を組む予定か。
- Q : 非常に綿密なワークショップを考えているようだが、中学校の先生方は非常に忙しい。そうった状況で、どのような形で協力をしてもらうのか。場合によってはワークショップの典型版ではなくて少し変形させて、しかも内実のあるワークショップというようなことができないか。
ワークショップのやり方は非常に綿密に書かれているが、目的や目指すものが見えない。ワークショップが目的ではなくて、ワークショップをすることによって、生徒やPTAをはじめとする市民の皆さんに、この地域へエコの理解を深め、そのことが今後の維持管理に深まっていくことを目的としている。そういった見通しを持っているか。
また、ワークショップのプログラムと、中学校の特性をふまえた環境教育ということが、そのなかに組み込まれるのかどうかをお聞きしたい。
- Q : 造り方の手順が、学校の改修における一番の特性だと思う。夏休みだけで工事を終えるのは無理なので仮設校舎を使うという話もだが、その辺はどうなるのか。特に、現在の普通教室数は 8 室だが、場合によっては家庭科室や理科室を普通教室として使うなど、例えば生徒数が変わった時の教室の運用の仕方をどのように考えているか。

②B社

- Q : 様式 9-1 の、ユニットプランの採用について質問したい。普通教室の改修イメージが載っているが、ワークスペースと教室との間の遮音性はどのように考えているか。また、同じイメージ図で、教室の左右の方角が気になる。一般に、右利きの生徒が多いので、南側からの採光が取れないと良くないとされている。この図では、例えば右側の教室は黒板の位置が東側になっているのではないか。その点はどのように考えているか。また、右側の教室が授業をやっている時に、左側の教室がワークスペースを使いたい時は、その間に遮音性の高い仕切りを設けるのだと思うが、はたして可能なかどうか。
- 屋上菜園について、「屋上菜園は地域住民と生徒の交流の場になります」と書いてあるが、図では 3 階に設置されている。中学校という非常に時間のない子どもたちのなかで、栽培活動が維持できるのか疑問である。非常に見通しが難しいのではないかと思うが、どう考えるか。
- Q : この工事を続けていく過程の段取りや、どのような形で業者を使いながら工事を進めていくかについて、もう少し具体的なイメージがあればお聞きしたい。また、数ある技術を盛り込むなかで、特にどういったところを重視して実現させていきたいと考えているか。それから、西春らしさ、この地域の特性、地域性などを反映した工夫があればお聞きしたい。

Q : 進め方の体制について、協力事務所もないだが、御社だけでやっていくということか。過去 1 年、エコ改修検討会と環境教育検討会の 2 本立てでずっとやってきて、環境教育検討会は今後も続けていくという話がある。そのあたりとの継続性や、昨年までの事務局がどうかかわっていくかといった全体の体制が見えてこない。住民参加は大切だし、市民参加は絶対だということだが、具体的にどうやっていくかが見えない。そのあたりについて何か考えがあればお聞きしたい。

③ C社

Q : 屋内空間の使い方について、特に教室の間取りなどの図面的な提案はなかったが、どのような形での教室の造り方、使い方をイメージしているか。また、その他についても、間取りの具体的なイメージがあればお聞かせいただきたい。

また、コストと期間の話については、提案のような事業費、事業期間でできるということではよろしいか。基本的に構造はすべて鉄骨造のようだが、外壁や屋根はどういったイメージか。

Q : 地域へ開かれた学校づくりと謳っているが、そこへ至る体制はどうなっているか。設計の体制や、地域とどのようにやっていくのかについて、全然提案がないような気がする。特に、今までエコ改修検討会、環境教育検討会と 2 本立てでやってきて、環境教育検討会はこれからも続けていくという中で、御社の提案は学校の改修については非常によく触れているが、地域へエコの考え方を広めていくこと、あるいは生徒とどのようにやっていくか、教職員やPTAとどのようにやっていくのか等については何も書いていないような気がする。まずはそういった人たちと一緒に、あるいはそういった人たちに興味を持ってもらい協力をしてもらいながら進めていくということが一番大事だと思う。

御社は大阪を拠点にしているが、地域に対してどういった形で取り組むのか。頻繁に来てもらうのは大変だと思うので、この地域に足がかりを作ってきちんとやるのか、あるいは地域の関連団体や業者と協力関係を作ってやっていくのか。考えをお聞かせいただきたい。

Q : 造り方について、普通、建物というのは下から順に造っていくのが従来のやり方だが、説明を聞いていると、4 階から造って行って、1 階や 2 階を壊していくという方法を取り入れるということだった。このため仮設の教室を作らなくても良いという話だが、実際には、夏休みの期間だけでやるのはおそらく難しいと思う。4 階を先に造って 4 階で授業をやっているなかで、下の階を壊しながら工事していくとなると、授業に対して何らかの影響があるのではないかと思うが、どうか。

Q : 増築する校舎だが、南北軸となっている。そうすると東西面の採光となるが、東西面は夏の除熱量が非常に多い。エコ改修ということなのだが、この点に対して、ディテールで何か提案はあるのか。